

## 第1回 大牟田市庁舎整備検討委員会（摘録）

時 間	場 所
平成 30 年 5 月 30 日（水） 18：00～20：30	大牟田市役所 北別館 4 階 第 1 会議室
<b>出席者</b>	
（出席委員）10 名（以下のとおり） 糸永委員、上田委員、大森委員、川満委員、椎葉委員、田中委員、田上委員、中野委員、平林委員、古野委員（五十音順） （欠席委員）なし ※上記の他、事務局メンバー6 名、支援業務委託者 2 名が参加した。	
<b>概 要</b>	
<b>1. 辞令交付</b> …市長より委員 10 名に対する辞令交付があった。	
<b>2. 開会</b> …開会にあたっての市長挨拶及び委員自己紹介、事務局メンバーの紹介があった。	
<b>3. 委員長、副委員長選出</b> …事務局からの推薦で、委員長に大森委員、副委員長に糸永委員が選出された。	
<b>4. 諮問</b> …市長が大森委員長に対し、 <span style="border: 1px solid black;">資料 2</span> に基づき諮問した。	
<b>5. 議事</b>	
①申し合わせ事項（案）について …事務局より、 <span style="border: 1px solid black;">資料 3</span> の説明を行った後、申し合わせ事項（案）が承認された。 （主な意見・質問） ○協議時間の目標が 90 分とあるが、終わらない場合は延長もあるのか。 →本日は、会議の冒頭に辞令交付や諮問もあり、長い時間をいただくことになるが、第 2 回以降は、90 分を目標としたい。協議が長引く場合は 2 時間程度になることもあると思うが、ご協力をいただきたい。	
②庁舎整備に係るこれまでの検討経過について …事務局より、 <span style="border: 1px solid black;">資料 4-4</span> について説明を行った。 （主な意見・質問） ○庁舎規模を想定するため、将来の人口をどのように考えているか。 → <span style="border: 1px solid black;">資料 4-3</span> P7「大牟田市人口ビジョン（平成 28 年 3 月）」における将来人口推計を参考に 2052 年人口 80,129 人を庁舎規模算定根拠とした。想定人口が同	

- 程度の庁舎事例の平均面積を基に、必要面積を約 17,000 m<sup>2</sup>と設定した。
- ケースDでは建設場所を笹林公園としているが、閉校予定の学校など他の公共用地も検討可能性があるだろう。
    - 笹林公園に限定するものでない。論点3「建替えの際の建設場所」を検討する際に、他の用地も含めて検討いただきたい。
  - 庁舎建設積立基金が、現在、約 19 億円あるが、どの程度貯めなければならないのか。
    - 資料 4-3 P12 (3) 財源内訳（見込）を基に、一般財源の見込みを記載している。それによると、13.4 億円から 33.3 億円が事業年度に必要となる一般財源の額となる。
  - 大牟田市は観光分野が弱いと思うため、歴史的価値ある庁舎を残して、博物館等として使用する方法も考えられるのではないか。
  - 本庁舎をどう扱うかが重要なポイントとなるため、論点2「整備手法」に関する議論を中心的に議論すべきだろう。その際、文化財保護法の改正の情報提供もお願いしたい。
  - 本館は見慣れた風景で、文化的価値のあるものだが、若い人にとってはただの古い建物かもしれない。構造、バリアフリーを改善するには多額の費用もかかる。博物館として利用した場合、集客や売り上げがなかなか見込めないと思う。今回の検討では、一に安全、二にお金を優先に検討すべきと考える。それを満たした上で本館を残せるのであれば素晴らしいことだと思う。
  - ケースAは本館改修の20年後に建て替えるようになっているが、適切な対策を行えば20年以上使用することができる。現在の記述では、20年しか使用できないと誤解を与えてしまう。適切な改修を行えば20年以上使用できることをしっかり伝えるべきだ。また、建替えした場合も改修と同様にメンテナンスが必要であることを伝えるべきだ。
  - ケースAとBで、本館改修後20年で次の整備手法を決定するとあるが、根拠が分からないので工夫してほしい。
    - すでに建設後、相当期間が経過しており、長期間の使用が保証できるものではない。一定期間毎に躯体の状況を確認しながら、判断すべきと考えている。
  - アンケートは、高校生や中学生など、大牟田市の将来を担う若い世代からも意見を聴くようにしてほしい。
    - インターネットアンケートで回答いただけるよう、広報に取り組む。
  - 市民アンケートとインターネットアンケートは回答者が重複する恐れがあるため、集計方法に配慮が必要だろう。
    - 市民アンケートとインターネットアンケートは、区別して集計する。
  - アンケートは専門知識がない人が回答することを前提として、疑心暗鬼にならないように配慮してほしい。
    - 参考資料や調査票も含め、ご指摘をふまえ表現を検討する。

### ③今後のスケジュールについて

…事務局より、資料5について説明を行い、確認いただいた。

### ④市民意見の聴取（案）について

…事務局より資料6-1～資料6-6について説明を行った後、市民意見の聴取（案）について承認された

（主な意見・質問）

○問5の「階段が少ない」は段差の数が少ないのか、階段の数が少ないのかが分からない。

→段差の数の意味である。ご指摘をふまえ表現を検討する。

○選択肢を1つに絞ることが難しい。問7と問15は問5のように優先順位を答えられる設問にしてはどうか。同様に、問6は複数選べるようにしてはどうか。統計的には、複数選択の方が良いだろう。

→ご指摘を踏まえて選択方法を検討する。

○問8-1、8-2に費用関連の選択肢があるが、シミュレーション結果の累計費用試算を前提とした記述になっており、ミスリードに繋がる恐れがある。

→ご指摘をふまえ表現を検討する。

○問15は、新規の土地を取得しなければまちの活性化ができないという誤解を与える。既存市有地でも活性化に寄与できるため、表現を検討してほしい。

→ご指摘をふまえ表現を検討する。

○団体アンケートの選び方はどうなっているか。

→団体アンケート実施団体は、「大牟田市まちづくり総合プラン2016～2019」策定時の意見交換実施団体により選定した。

○クロス集計によって、市民の意見はしっかり把握できるだろうか。分析は慎重に取り組むべきだが、アンケート結果だけで整備手法を決めるということにはならないようにしなければならない。

→年齢別、居住地別、利用頻度別などの回答者の属性別のクロス集計の他、設問間のクロス集計の分析についても行う予定としている。

○問9以降が建て替える場合の設問となっていることが、建替えに誘導的だと見えてしまう。まず、改修すべきかについてアンケートを実施し、その結果を受けて再度アンケートを実施すべきではないか。

→熊本地震を受け、庁舎整備は早急に検討すべき課題となっている。時間的制約がある中で工夫しながら、仮に建て替える場合の条件についてもアンケートの設問とさせていただいた。

○参考資料P3で「約20年後に整備手法（大規模な改修又は建替え）を再検討」とあるが、建替えの選択肢は考えられないと思う。

→将来は建築技術が進歩することも考えられるが、建物の状況に応じ、その時に改修すべきか、建替えするべきか判断する必要があると考えている。

○保存すべきかどうかは、本館だけが対象となっているが、本館を保存する

場合に他の庁舎を建て替えできないと誤解してしまわないか。安全確保が重要であるため、建替えに反対することはないと思う。どれを建て替えるべきかを尋ねることは考えていないのか。

→アンケートはA、B、C、Dから選ぶことを目的としていない。問7で整備手法決定にあたっての優先順位など、整備手法を決めるにあたって何に重きを置くかについて尋ねることを目的としている。

○A、B、C、Dの費用を書けば、鵜呑みにされてしまうため、数字を削除してはどうか。

→市民の負担をご理解いただいた上で整備手法を判断する必要があり、現実的な議論をするためには費用に関する情報提供は必要だと考えている。また、費用だけでなく、各ケースの特徴も含め総合的に判断していただきたい。

○ケースA、Bは建て替える前提で累計費用が算出されているが、使用を続ける場合のシミュレーションは実施していないのか。グラフの修正を検討していただきたい。

→一般的な改修でないため、積算根拠が分からない。現時点での修正は難しいが、研究はしてみる。

○本館をメンテナンスしながらずっと維持することも可能であることから、必ず建て替えないといけないという誤解を与える部分は消していただきたい。

→「20年後に建て替える場合は」という意図が伝わるよう修正したい。

○委員会に参加するまでは保存したいと思っていたが、築80年以上ということや約20年後に再検討が必要であることを考慮すると、あまり保存にこだわらなくなった。大事なのは来庁者と職員の安全確保だと思う。

○アンケートの結果はあくまで、委員会における議論での参考にするものであり、それに拘束されるものではないため、この内容でよいと思う。

#### ⑤その他

…事務局より次回の飯塚市庁舎見学等について、数点、事務連絡を行った。

#### 6. 閉会

以上